

平成30年度 上半期の教育活動を振り返って

福島県立湖南高等学校長

向暑の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、本校では、今年度の重点努力目標として、「生徒一人ひとりを大切にし、人間性の育成や能力の伸長と、地域社会から信頼される学校づくり」を掲げ、教職員一同、目標の実現に向けて努力しているところでありますが、これまでの教育活動の検証を行うために、上半期の教育活動を振り返り、全校生徒及び教職員を対象にアンケート調査を行いました。そのアンケート調査結果は、以下のとおりですので、ご参照ください。

今後は、このアンケート調査結果から見えた課題の克服に向け、教職員一同、努力して参りますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

【上半期 学校評価アンケート結果】

			生徒(%)			教員(%)		
			肯定的評価 (A+B)	昨年度 上半期	傾向	肯定的評価 (A+B)	昨年度 上半期	傾向
	1	学校生活に満足しているか	82.5	78.3	—	94.1	92.9	—
重点1	2	コース別少人数授業は分かりやすいか	89.5	89.9	—	100.0	100.0	—
	3	朝の学習により学力が向上したか	58.8	65.1	↓	87.5	76.9	↑
	4	授業は分かりやすいか	86.0	89.1	—	81.3	84.6	—
	5	まじめな授業態度であったか	69.3	75.2	↓	93.8	84.6	↑
	6	家庭学習に取り組んだか	57.9	61.2	—	12.5	7.7	↑
重点2	7	個に応じた進路指導がなされたか	79.6	78.9	—	75.0	69.2	↑
	8	進路に関する行事がなされたか	84.2	78.9	↑	87.5	92.3	↓
重点3	9	きちんとした挨拶を行っているか	86.8	86.8	—	58.8	50.0	↑
	10	学校の決まりや社会のルールを守ったか	83.3	80.6	—	58.8	57.1	—
	11	きちんとした服装や頭髪ができたか	81.6	85.9	—	70.6	71.4	—
	12	部活動に熱心に取り組んだか	55.9	68.3	↓	43.8	42.9	—
	13	読書の習慣がついているか	22.8	32.0	↓	58.8	61.5	—
	14	毎日の清掃活動に努力したか	78.1	86.0	↓	76.5	85.7	↓
重点4	15	『湖南高校だより』『保健だより』を読んでいるか	43.0	45.3	—			
	16	保護者へ学校の連絡文書を渡しているか	48.2	61.2	↓			
	17	『湖南高校だより』『保健だより』が学校の状況を伝えているか				100.0	100.0	—
	18	学校HPが学校の情報を伝えているか				100.0	100.0	—
	19	生徒一人一人を大切に、信頼される学校づくりに努めているか				94.1	92.9	—

※ 『傾向』の欄は、昨年度と比較して、5%以上増減があったものを矢印で表示している。

【アンケート結果分析】

今回のアンケート結果から、次のようなことが読み取れました。

- 生徒の80%以上が学校生活に満足しているとの評価であり、充実した学校生活を送っていることが窺える。
- 生徒の約90%がコース別少人数授業については分かりやすいと感じている。
- 朝の学習で学力が向上したと感じる割合が、生徒評価で昨年度より約6ポイント下がった。逆に、教員評価は上がり、生徒と先生の間で乖離が見られる。このことについては、今年度より朝の学習の手法を見直したことで、未だ生徒に定着していないと考えられる。
- 授業態度が良好と思っている生徒評価は昨年より約6ポイント下がった。逆に、教員評価は上がり、生徒と先生の間で乖離が見られる。
- 家庭学習への取組が十分と考えている生徒評価は約58%と非常に低い。教員評価においては12%とさらに低く、生徒の家庭学習への取組が課題である。
- 個に応じた進路指導、進路に関する行事に関して、生徒評価・教員評価ともに75%以上となっており、一定の評価を得ている。
- きちんとした挨拶、決まりやルールの遵守、きちんとした服装など、生徒評価と教員評価の割合で乖離が見られるが、少しずつ改善されている。
- 部活動への取り組みについて、生徒評価・教員評価ともに低い。
- 読書の習慣化について昨年度よりさらに減少しており、生徒の読書離れが課題である。
- 毎日の清掃活動について、生徒評価も教員評価も昨年度より約8ポイント下がり、清掃に対する意識改善が必要である。
- 「湖南高校だより」などを読んでいる生徒が43%と非常に低い。読んでもらうための工夫改善が必要である。
- 学校の連絡文書を保護者へ渡している生徒が48%と非常に低い。保護者への通知のあり方の検討が必要である。

【下半期に向けて】

今回のアンケート結果を踏まえ、次のような点を重点事項として取り組んでいくことを考えております。

- (1) 生徒の家庭学習の習慣を定着させるために、課題を出すとともに学校配布の手帳に学習時間を記録させ、自己管理と自主性を促す。
- (2) 図書委員を中心に学校図書の整備を行い、読書に対して興味関心を持たせる工夫をする。
- (3) 美化週間における清掃活動を通して、学校への愛校心を育て、美化意識を向上させる。
- (4) 読みやすい、親しみやすい広報紙にするために工夫する。
- (5) 保護者へ文書が渡るように生徒への指導徹底を行うとともに、配布文書に関して、事前にメールで保護者へ通知をする。

【あとがき】

県立高校改革の方針の下、本校は1学級本校化が決まり、今年度24名の生徒が入学してきました。昨年度と比較すると全校生徒数も減りましたが、生徒たちは、毎日、元気に、楽しく学校生活を送っています。

さて、まもなく夏休みとなります。夏季休業中、学校では、生徒への進学や就職のための課外学習、学力アップ学習会などを計画しておりますので、お子様への積極的な参加促進をお願いいたします。

夏休みは、学校がある日常生活と異なり、生活のリズムが乱れがちになります。お子様が規則正しい生活を送り、この長期間の休みが有意義なものになるよう保護者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。